

令和元年度東京都入札監視委員会第4回制度部会(東京建設業協会との意見交換会)審議概要

開催日及び場所	令和2年2月14日(金) 東京都庁第二本庁舎31階特別会議室22
出席委員	東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻教授 堀田昌英 東北公益文科大学准教授 斉藤徹史 (元)品川リフラクトリーズ(株)代表取締役副社長 仲田裕一 (敬称略・計3名)
審議事項	(1) 都の入札契約制度等に関する要望について (2) その他報告等
議案の概要	(1) 一般社団法人東京建設業協会からの都の入札契約制度等に関する要望について意見交換を行った。 (2) 民法改正に伴う工事請負契約標準約款の改正について都から報告を受けた。
委員会による審議結果報告	—
事務局からの報告	民法改正に伴う工事請負契約標準約款の改正について報告を行った。
委員からの意見等の概要	(1) 一般社団法人東京建設業協会からの要望 <ul style="list-style-type: none"> ① 入札契約制度の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・入札公告時公表の工程表の改善 ・入札公告時における見積参考資料の提示・内容充実 ・積算基準等の改善 ・入札公告時における提供データの配布・形式変更 ・低入札価格調査制度の見直し ② 設計変更の適切な対応 <ul style="list-style-type: none"> ・設計変更時における事務所及び監督員等の対応改善 ・設計変更時における過度な受注者負担の是正 ・設計変更に伴う金額・工期変更の適切な対応 ③ 働き方改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・工期設定・条件明示のさらなる改善 ・週休2日の実施に伴う必要経費の補正係数の引き上げ ・自然災害等が発生した際の柔軟な工期延長及び休日振替制度の採用 ④ 書類の簡素化・生産性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・「書類削減モデル工事」の拡大・書類の統一化 ・「工事情報共有システム」の活用 ・生産性向上に資する工法の積極採用 ・竣工検査の改善 (2) 入札監視委員会制度部会委員からの質問等 <p>【委員からの質問等】</p> 設計変更に伴う金額・工期変更の適切な対応について、受注者の観点から、どのようにその価格を選定するのが良いのか、何かやり方があれば伺いたい。

【業界団体の回答】

各社いろいろ新工法、新技術を使いながら、新たな工法として、発注者に対して、こういう工法を採用して欲しいと提案している。その際には、見積もりを取っていただいた上で、適正な価格を判断していただきたい。

【委員からの質問等】

出来高の検査確認等については、ICTの活用、建設データの活用等々のICT技術の活用などが図られているが、そのような取り組みについて受注者はどう感じているか。

【業界団体の回答】

ICT活用工事として発注した件数に比較して、適用件数が少ない。ICTを入れると値段が高くなってしまいうという問題点があると認識しているが、都内でぜひICT建機、ICT活用工事を推進したいと思っており、引き続き、東京都と連携し、活用を進めていきたい。

【委員からの質問等】

設計変更ガイドラインは、現場の問題を解決するために十分に機能しているのか。設計そのものの大半を外部に委託しているが、機能的にタイムリーに行うことができているのか。仕組みをもう一度、検証したほうがよいのではないか。

【東京都の回答】

現在、各工事において、工事請負契約設計変更ガイドラインというものがあり、ホームページ等でも公開している。運用については、色々と課題があるのは認識しており、各局に対してしっかりと運用の周知を行っていきたいと考えている。

【委員からの質問等】

担い手確保に向けて、新たなアイデアや要望はあるか。

【業界団体の回答】

東京都から庁内で連絡会議を開き、共有していくと回答を受けたが、工程表など、参考資料の早期提供については、強く徹底をしていただき、積算に必要な情報を詳細に早く出していただくことで、入札に臨む参加者の働き方改革につながっていくと認識しており、ぜひその点を改善いただきたい。

[その他]

特になし